

読書双態

経済学部教授 三上 操

● 大学を出るときゼミの指導教授に、「毎日2ページでよいから本を必ず読むように」と言われ、「そうします。」と返事したのは口先だけではない。真実そう思ったのである。すでに就職はきまり、一生教師をする運命となっている。研究論文も一編は大学紀要で公刊され、次の一編も遠からず専門誌に載る予定で、ひとつ専門で名を成したいとの気負いもあつてのことである。

● さて実社会に出てからである。新米教師にテキストの予習は欠かせないが、意外に骨が折れ時間を食う。しかもこの作業が読書の名に値するかは怪しい。会社などの実務に当たる人々にとっても事情は違っても同種の悩みがあるだろう。そして追われるにつれ、読書時間がないとの口実はいくらでもつけられる。当然1日2ページのノルマを果たさない日が多くなるのは自然の成行きである。

しかし活字に囲まれた生活は続く。そこで読書の意義を考えてみる。机に向つて本を開いてさえいれば、読書している。勉強している。と喜ぶのは教育ママであつて、これは受入れ難い。趣味とはいわれたときの読書が、ふつういう読書らしい気もする。職業上必要な文献、報告、雑誌などを読むのは勉強に違いないから読書に入れてよいものかどうか。投資のため株の勉強をしたり、税の本を愛読するのはどうか。これは教壇で立往生しないように下調べするのとどこか似ている。同じ準備でも、大学院講義のように最尖端の高度の専門

の講義や、論文執筆のため近着の外国文献をあさったりするのも職業上の必要ながら一味違う。

きりがなが大きく分けると、自分の専門、職業分野での必要からする専門的読書と、これに直接には関係しない、いわば教養的読書あるいは趣味的読書という分け方がまず無難なところだろう。

卒業時の恩師のことばは明らかに専門的読書の意味であつたが、このことは新しく社会に出られる方がたに、今でも特に希望したいことである。目標達成を心がけることで今後の進路も着々と開け、生き抜いて行くにもきつと役立つであろう。他方、教養的読書もぜひ勧めておきたい。これは功利心を離れ、書評などに惑わされず、自分の教養を高めるため自分で選んだ本を愛読することである。本の選び方は容易ではないが、回を重ねればカンも冴えてくる。専門書で教養を身につけることもできようが、やはり偏り易いようである。選択のカンのでき方は努力に負うものが大きいが、多少適性もある。専門書でも同じで、優れた仕事をしている人は例外なく読むべき本を必ず読んでいるのには驚かされる。しかしわれわれ凡人は修練によってそこへ行くしかない。そして選んだものを読むばかりではなく、内容を自ら考え、感想を書くことも勧めたい。その努力は必ず報いられ、ゲータ?の要求する「人間40ともなれば自分の顔に責任がある」とのことばに叶うものとなることも期待されるのである。(統計学総論)

社会人と読書

東洋信託銀行福岡支店 宮 下 信 義

ひと言に読書と言っても、いろんなとらえ方がある。私ほど本を読まないものがあるだろうか、と思うほど読書とは無縁の生活を送ってきた。

そんな私でも、学生時代には、…賞受賞という本を見つけては、2日ほどで読み切り、すぐにその著者の考え方に同調し、考え方まで変わる。また、しばらくして別の書物を読むと、また、それなりに感動し、人生観まで変える。

なんと、自ら主体性のない人間なのだろうと、淋しい読書を忌み嫌ったものである。

ただ、社会人となった今、当時の許せる時間がなんとなくやましいことであろう。今、読む本と言っても、仕事上読まなければならぬと言った、受身的な読書であって、そこには好きとか嫌いとかはない。

入社当初、証券部という今まで経験したことがない部門に配属が決まり、即、受身的な読書が始まった。週に数冊の書物を与えられて、ある意味では読書を強いられた、といった方が適当かもしれない。しばしば、給料をもらいながら、勉強させてもらっているという気分でもいたが、年数が経つにつれ、日常業務に追われ、睡眠時間さえ、カットされる始末である。

もともと、大学時代に学んだ知識も相当役に立っていると思うが、実社会の実務に携わってみると、戸惑いの連続である。社内研修等もしばしば開かれた。しかし学生時代、社内研修を通して養われたものは、あくまでも基礎的な一部であり、後は各々掘り下げざるをえなかった。

銀行部に配属が決まり、そこには貸付の仕事が待っていた。ここでは大学時代に学んだ事が少しは役に立ったと思う。いろいろな企業の財務諸表を見る事が日課となる。そのうちに貸出しにもなると、経済情勢の変化、資金繰りのうんぬん……を判断するとなると、ただ財務分

析がどうだの、書物から得られた知識だけでの判断だけでは危険極まりない。倅いかな、情報化社会の今日、あらゆる方面から、多大な情報、資料が流れ込んでくる。

しかし、これを正確かつ迅速に判断するためにも、実践的な知識が必要とされてくる。そこがキャリアの差と言うもので、まだまだ、自分達にも、奥の深い事を痛感させられている。

今、営業マンとして、外に出る事が多くなった。こと個人顧客に関しても、いろいろな問題が待っている。

一つに、税金問題がある。内部事務に携わっている中でも、預金者に対する利子所得の源泉徴収手続等があった。

これらは、上司、先輩から指導をうけることもあったし、それなりのマニュアルが会社に備っていてもいた。

しかし、こと個人顧客から受ける税務質問内容は、相続関係、贈与関係、土地譲渡所得、利子所得等……。

資産税関係のものが多く、資産税を中心とした税務知識がかなり深く要求されてくる。確かに税務相談は、直接、税務署に行けば、専門の相談官もいるし、税務相談室なら、一応税務署を退役された相談官が、無料で、懇切丁寧に指導してくれる場所もある。

しかし、こういう機関を利用しようとする人はまばらで、むしろ、ヤブヘビにならないかという不安感の方が先にたってしまうのであろう。それよりもむしろ、日頃親しくしている、私達の方が、あけっぴろげに話すこともできるし、秘密もまた守ってもらえるだろうと、相談を持ちかけられることになる。

今、自分の部屋を見渡すに、書物と言っても、銀行がらみの本、税金、法律……なんとも味気ない本棚であるとか。時間と健康が許す限り、楽しい書物に親しもう。それが私の、今からの読書志向である。

(昭和50年商学部卒業)

文学部国際文化学科4年 平野 美和子

図書館には、私の大学生活の表向きの面が集約されていたといえるだろう。館内では勉強家の面持ちを保ち、時折襲ってくる空腹感をこらえながら、カードをめくり、書棚に目を走らせていた。しかし、その読書範囲はごく限られていた。特に3年以降、専門科目が増してからは、その傾向が強くなった。それまでの行き当たりばったり型読書が身を潜めたのである。また、文献講読で原資料を読み取る面白さを知ったころからは、主に閉架図書を利用することが多くなった。この閉架図書だが、本来は開架になっていても不思議ではないような書物が、悠然と書庫に納まっているのである。その姿を見るためには、カウンターの方に仲介を頼まなくてはならない。古くて背がボロボロになっているような重い書物を、何度も運んでいただいた。こんなとき、専攻別の研究室が整い、

助手がいれば、このような面倒は無いのにと、他大学の研究室を羨望したこともあった。そのころから、同じゼミの仲間たちは、図書館を研究室代わりに出入りするようになったのである。4年後期になって、ゼミが終わり、講義で顔を合わせる事が難しくなると、まず図書館へと足を向けた。すると、必ず何人かの姿を見付けることができ、卒論の進み具合や近況を語り合った。考えてみれば、静寂さが不可欠な場においては、場違いな利用法だが、大学生活の1つの淡色彩の印象として残っている。

本学図書館以外には、市立図書館・県立図書館・九大中央図書館などを利用したが、各々に特徴があった。蔵書の数・内容は別にして、本学図書館は学生にとって利用し易い所である。最後に4年間を通じて思うことは、必要に迫られて、書物を手にするのみではなく、幅広い受容をし、その中の幾つかに、強く惹かれるような接し方もしたかった、ということだろうか。

図書館の思い出

法学部法律学科4年 鶴 亮 治

私は、図書館の世話にならなかつたらおそらく卒業できなかつただろう。それは決して過言ではない。私がはじめて図書館に足を運んだのは、一年の後期試験の勉強のためだった。それまで剣道部の練習に明け暮れ、図書館に足を運びたいなどは夢にも思わなかった。ところが一度足を運んでみるとどうだろう。これほど居心地がよく落ち着いて勉強できる場所は他にないと思った。また最初は冷暖房設備は不十分だったが、私が二年の夏ごろ完全になって、勉強するにはこの上ない恵まれた環境になっていった。おまけに二階カウンターの受付嬢が日替り弁当のように替わるのが楽しみとなり、それ以来とりつかれたように図書館へ足を運ぶようになった。また日曜・祭日・特別の休館日以外は、毎日朝九時から夜九時まで開けてくれる図書館は日本中探したって数える程しかないだろう。それほど貴重な存在の本学の図書館に

私は魅せられてしまった。さすがキリスト教的奉仕精神にあふれる優しい心配りだなと思う。私はどちらかと言えば、本を借りたり、読書をしたりするために図書館を利用したのではなく、試験勉強のためにのみ利用したと言ってもいいだろう。もっと本をたくさん借りて、読みこなしておけばまだたくさんの教養が身についただろう。またいつも図書館で顔を合わせる人と友達になって勉強仲間になっていたらどんなにすばらしかつただろう。今となつては後悔することばかりだが、図書館は一言では語り尽くせぬ感慨深い思い出を与えてくれた。これから図書館を利用しようとする人やもう利用しているが何か物足りないと思っている人は、何か大きな目標をもってそれを達成するために図書館を最大限に活用すれば、きっと大きな収獲が得られると思う。最後に図書館員の皆様方に厚く感謝すると同時に今後の一層の発展を期待します。



レファレンス事例 (8)

参 考 係

最近利用者から寄せられた参考質問のうちから、2・3の事例を紹介して、他の利用者の参考に供したい。

〔質問1〕 今は廃止法令となっている自動車製造事業法（昭和11年5月29日制定）の内容が知りたい。

回答例： 制定が昭和11年ということがわかっていて今は廃止法令となっているが、当時としては現行法令だったので、その当時の現行法令集を見ればよい。通常その当時の「法令全書」を見ればよいが、当館には所蔵していないので（当館所蔵 慶応3年～明治31年、昭和38年～）昭和12年発行の「現代法令全集」（日本評論社）全8巻＋追録2巻の追録の上に出ている。

〔質問2〕 イギリスの劇作家 Philip Massinger の戯曲 City Madam について書かれたものが何かあるだろうか。

回答例： 各種資料を見たが国内の資料は見当らず。Humanities Index, 1980～'81（累積版）に次の1点が見つかった。Massinger's The City Madam. P. Werstine. Explicator 38: 19-20 Summ '80. それから特定主題の書誌として Elizabethan Bibliographies. 9 vols. (Kennikat, 1967) のVol. 6に Massinger が入っていて、これを見ると City Madam についての評論が4点出ていることがわかった。

〔質問3〕 ユネスコ、国連の国際教育局により、1965年国際公教育会議（ジュネーブ）が開催されたが、そのとき「中等学校における外国語教育に関する各国文部省に対する勧告第59号」という勧告が出されたということだがその内容を知りたい。

回答例： 1965年ということがわかっているので、「雑誌記事索引」人文・社会編の累積版1965～1969年の7巻教育・文化編の《各科教育・各科研究》の外国語教育の

頃を見ると、文部時報 1060（'65.12）P 65～69に載っていることがわかる。

〔質問4〕 中教審の答申「期待される人間像」の内容が知りたい。

回答例： 「教育学大辞典」全6巻（第一法規、昭和53）の6巻 資料・索引編の資料編の章に出ている。それによると、中央教育審議会（中教審）の第20回答申（昭和41年10月31日）の別記として付加されている。

〔質問5〕 竹の子族の由来と、そのファッションが載っているのを見たい。

回答例： こういう一時期の風俗語・流行語を調べるには、「現代用語の基礎知識」を見ればよい。その1982年版を見ると、昭和55年の流行語として載っている。それによると、主として代々木公園の歩行者天国に集まる若者たちの異風景。アフロヘアの「大和武尊」や、もんぺをはいた「卑弥呼」などいつも300人ぐらゐが登場、竹の子族の語源といわれるブティックの「竹の子」の主人、大竹竹則さんがその仕掛人の一人といわれている。服装のスタイル等がよくわかる写真については昭和55年に流行したということだから、その当時の写真をよく取り入れてある週刊誌、月刊誌等を見るしかない。

〔質問6〕 宇佐八幡宮縁起（一名宇佐大神宮縁起）が何かの叢書の中に収載されていないだろうか。

回答例： こういう古文書を種々収集したものとしてすぐ思いあたるのが、群書類従（続、続々）である。これを直接見てもよいが、他の叢書の中に含まれている場合はわからないので、その場合は「増訂・日本叢書索引」廣瀬敏（編）（風間書房、昭和32）を見る。それによるとやはり収載叢書には、続々群書類従 その二 神祇部とある。



外国図書館シリーズ

— アメリカ —

ハーヴァード大学図書館

Harvard University

Cambridge, MA 02138

(学生数 約16,000名、内大学院生 9,600名)

文学部教授 安河内 英 光

ハーヴァード大学はアメリカ独立から140年ほど遡った1636年に開校されたアメリカ最古の大学だが、その図書館も大学の長い歴史に見合うだけの質と量の充実ぶりを示している。中央図書館の Widener Memorial Library を初めとして、各々の学部学科や研究施設や美術館所属の図書館の数は合計92、図書館職員 900余名、蔵書数は優に1,000万冊を越えるという。これはアメリカのみならず世界の大学図書館の中では最大規模だと聞く。

大学には、Lamont Library, Hilles Library, Cabot Library という三つの学部の学生用の図書館があり、Lamont と Hilles は人文・社会科学系の図書を蔵し、Cabot は自然科学と数学・統計学の図書を有する。これら三つの図書館は広い大学のヤードの南東から北西の方向に、Lamont, Cabot, Hilles の順に、それぞれ歩いて5分ほどの所に配置され、図書館のすぐ近くにドーミトリイがある。開館時間は朝8時45分から深夜まで。日曜日も正午から深夜まで開いている。これらの図書館はいずれも開架式で、一つか二つの机を書棚がコの字型に

取り囲む図書の配置がなされ、学生の利用の便への配慮が窺える。但し、これらの図書館は便宜上重点を学部の学生に置いていてだけで、勿論、大学院生も教員も利用できるが、一方、学部の学生の方も各学部学科や研究施設所属の図書館や Widener を必要に応じて利用している。

コリント式柱頭の巨大な12本の石柱が並ぶファサードの Widener Memorial Library は、一卒業生の母の寄附金によって1915年に建てられた人文・社会科学系の図書館であるが、この Widener は中央図書館として各所に分散している全ての図書館を統括する役割を果たしており、一階の広々としたカタログ室には全ての図書館の図

書のカatalogが収められている。Widener は開架式なので、カタログ室で借り出したい図書の分類番号を確かめて、10層のフロアーからなる書庫の入口で係員に I.D. (身分証明書)を示して中に入り、この図書館だけで300万冊を越すといわれる膨大な図書の山の中から本を捜し出し、それを貸し出しデスクで手続きをして借り出すのである。

Widener で特徴的と思われるものを次に三つ紹介したい。まず第一は、学生の優秀な論文と博士論文は一つの文献として他の図書と同様に分類番号を持ってカタログに収められていることである。これらの論文は Widener の分館的存在の Pusey Library の一部に設けられたア

ーカイヴズにあり、借り出しはできないが分類番号を言えば係員が書庫から取り出してくれるのでその場で読むことができる。第二の点は、書庫の中の窓際を2メートル間隔で仕切ってそこに小さな机と書棚を置いて — これをカレルと言う — 博士論文作成中の院生と私のような客員研究員に開放していることである。このカレルの使用が便利なのは、書庫の中の図書を貸し出しデスクを通さずに直

接カレルに持ってきて、カードに分類番号とカレル番号 — 私の番号は534 — とサインを書き込んでカレルの書棚に置いておけば、係員が廻ってきてチェックし、リザーブにしてくれる。カレルの書棚は小さいが200冊ほどの図書を置くことができる。第三の点は、研究者と研究資料が密着していることである。

Widener では最上階(三階)と書庫の奥が教員の研究室となっている。研究資料・文献は文字通り研究者の手の届くところにある。カレルの開放や研究室の位置から、研究者と図書館の結びつきの必然性を改めて見る思いである。

(アメリカ文学)

(筆者は昨年8月から留学中)



Widener Memorial Library

1982年1月18日 雪の日 筆者写す

☆ ニュース・お知らせ ☆

＜図書館委員会＞

- 56.11.13 ①昭和57年度大学図書館予算の申請について
て
57.1.22 ①卒業論文の図書館保管について
②開架閲覧室に設置の児教関係図書・雑誌
の配架場所変更について
③先生方の図書館利用方法について
57.2.18 ①卒業論文の図書館保管について
②その他

＜研修・出張＞

- 56年度全国図書館大会
56.10.29～31 於：浦和市
糸園館長、刀根司書長出席
○56年度私大図書館協会 秋季西地区部会
56.11.13 於：大阪工大
今永課長補佐出席
○第13回（56年度）国連寄託図書館会議
56.11.19、20 於：国立国会図書館
杉野司書出席
○56年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会
・第2回福岡地区研究会（当番校：第一薬科大学）
56.11.24 於：福岡市天神 ガーデンパレス
杉野、大羽両司書出席
・第3回福岡地区研究会
57.1.26 於：福岡市天神 ガーデンパレス
今永課長補佐、杉野司書出席
○ジャパンマーク利用者懇談会
57.2.19 於：国立国会図書館
今永課長補佐出席

＜学生の図書館利用に関するアンケート調査の実施＞

この調査は、本学学生の図書館利用の実態を把握し、適切な学習環境の整備をはかり、図書館活動改善の資料とするためであり、特に学生諸君の図書館に対する意見、希望等もできるだけうけとめ、利用者サービスの向上につとめるために、去る1月11日～18日の間に行った。その詳しい集計結果については、この号の附録として別に報告しているが、学生諸君の図書館利用の実態が把握でき、また大変活発な意見、希望等も出され、図書館としては更に改善、努力しなければならないと強く感じた次第です。

ご協力に感謝いたします。

＜在庫調査の実施＞

去る3月9日～16日にかけて、例年のとおり年1回の蔵書点検を行った。図書館所蔵の約35万冊の図書について、1点1点現物との照合調査を行い、併せて目録、原簿等の整備をはかった。

この間利用者の皆さんにはご迷惑をおかけしました。

告知板

○春休み中の開館

2月6日（土）～4月9日（金）の春休み中も、次の場合を除き平常通り9時～21時まで開館します。但し、学習室は閉室します。

2月9日（火）～2月13日（土）は入学試験のため休館。

3月9日（火）～3月16日（火）は在庫調査のため2階以上の閲覧室を閉室し、学習室（1階）のみ開室します。なお貸出図書の返却は受けません。

○春休み長期貸出

1月27日（水）～4月22日（木）
（但し、卒業予定者は2月末日まで）

対象および冊数	学部学生	} 5冊以内
	専攻科生	
	留学生別科生	10冊以内
	大学院生	20冊以内

○卒業後の図書館利用の手続き

本学卒業生は、社会に出てからも職務上の研究・調査など、あるいは自己の教養・知識向上のため本学図書館を利用することができます。利用希望者は特別利用者規則に従ってご利用ください。特別利用者証発行については、次のものを提出しなければなりません。

- | | |
|-----------------|------|
| ① 特別利用許可願（本館備付） | 1通 |
| ② 卒業証明書 | 1通 |
| ③ 証明書用写真（3×4cm） | 1葉 |
| ④ 印鑑 | |
| ⑤ 手続料金（1ヵ月） | 100円 |

※入館、貸出手続きは在学中と変わりませんが、貸出冊数および期間は年間（休暇中を含め）を通じて3冊、11日以内です。

図書館利用に関するアンケート集計結果

西南学院大学図書館

調査目的

図書館の利用実態を把握し、将来の参考資料とするために実施したものである。

調査期間

昭和57年 1 月11日(用)～ 1 月18日(用)

調査項目

資料、諸手続、施設・設備など

調査方法

入館時にアンケート用紙を手渡し、退館時に回収した。

調査対象

学部学生、院生、特別利用者

回収状況

配布数 1,649 枚

回収数 1,437 枚

回収率 87.1%

集計上の処理

- ① 学部別に集計をおこなった関係上、回答者が少なかった神学部生(1名)は文学部へ、専攻科生(4名)はそれぞれ所属の文学部へ2名、経済学部へ2名を繰り入れた。
- ② 100分率の表における割合は小数点第一位で四捨五入し、設問が多く意見が些少になる場合は小数点第2位で四捨五入した。
- ③ 各項目のもとの小質問は、回答された人数で表わし、2項目以上答えたものも数に入れたので総数において回答人数を上まわる場合がある。

調査内容と回答

i. あなたの所属は

- a) 神学部 b) 文学部 c) 商学部
d) 経済学部 e) 法学部 f) 専攻科
g) 大学院 h) 特別利用(聴講生を含む)

総数(1437名)	文 (607名)	商 (275名)	経 (222名)	法 (296名)
			大学院(15名)	
			特別(22名)	

a)からe)に○をつけた人は、下記にも○をつけて下さい。

(イ) 85期生 ロ) 84期生 ハ) 83期生 ニ) 82期生
ホ) 81期生以前]

85期生 (356名)	84期生 (374名)	83期生 (431名)	82期生 (211名)
81期生以前(17名)			

2. あなたの性別は

男 (829名)	女 (606名)
無回答(2名)	

3. あなたの利用頻度は

- a) ほとんど毎日 b) 1週間に2～3回
c) 半月に2～3回 d) 1ヶ月に2～3回
e) 年に数回 f) 今日のはじめて利用した

	a	b	c	d	e	(%)
文学部	3	24	21.8	28.8	22	0.2(f) 0.2(無回答)
商学部	5	18	23	25	27.6	0.4(f) 1(無回答)
経済学部	4.5	20	25	24	26	0.5(f) 0(無回答)
法学部	11	22	19.6	26	20	0.7(f) 0.7(無回答)
大学院	27			60	13	
特別利用	23		45	9	14	9
全体	6	23	21.8	26	22.6	0.3(f) 0.3(無回答)

e)、f)とした人は下記の中より該当があれば○をつけてください。

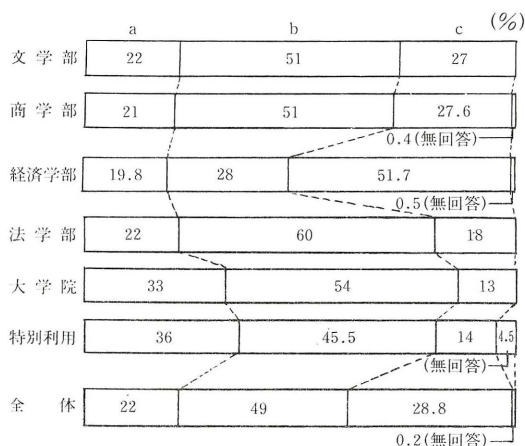
- イ) 利用の必要がない
ロ) 利用したいが暇がない
ハ) 利用の方法がわからない
ニ) 手続きがめんどうである
ホ) その他 ()

	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	無回答	(名) 計
文	53	22	0	20	11	26	132
商	29	13	1	13	6	17	79
経	29	10	0	7	1	10	57
法	25	6	0	14	0	16	61
院							
特	0	2	0	0	0	0	2
計	136	53	1	54	18	69	331

全般的にみて、図書館をよく利用しているけれども、あまり利用しないという回答者の中には、設問以外に、試験前、試験期間中だけ利用する。利用したい本がない。などという意見もあった。

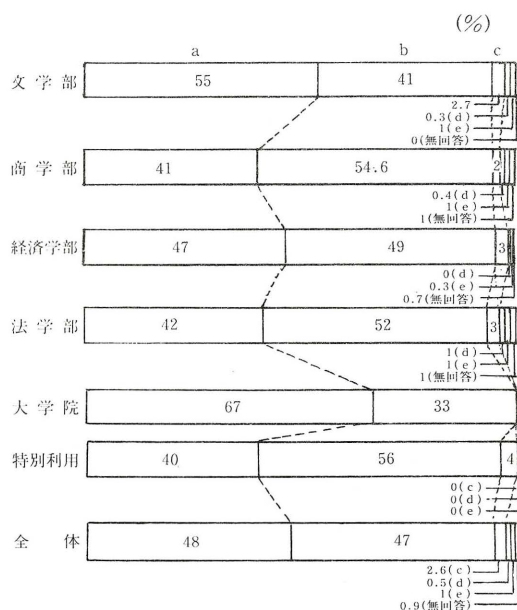
4. 入館の手続きは

a) 簡単 b) 普通 c) めんどく



5. 利用した目的は

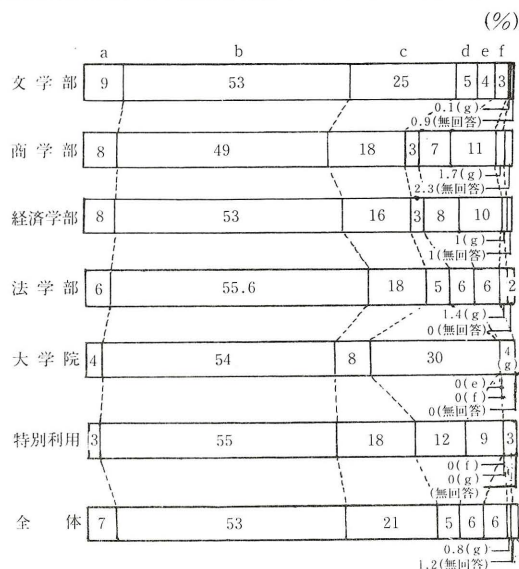
a) 資料(図書・雑誌)利用のため b) 自習のため c) 複写のため d) レコード聴取のため e) その他()



その他の意見として、新聞を読むため、変わった利用のしかたとしては、待ち合わせ・時間つぶしなどがあつた。

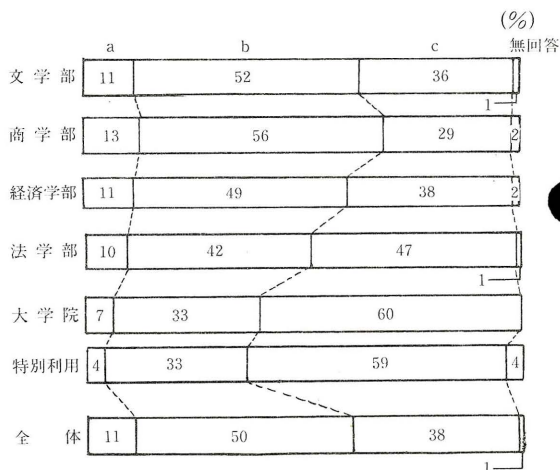
6. 今までもっとも利用した資料は(2つ以内)

a) 辞典・便覧等 b) 専門図書 c) 一般教養図書 d) 学術雑誌 e) 一般雑誌 f) 新聞 g) その他()



7. 必要な資料が充分あると思いますか。

a) ある b) まあまあ c) 不足している



c) とした人は、下記の中より該当があれば○をつけてください。(2つ以内)

イ) 一般教養図書が不足

ロ) 専門図書が不足

ハ) 資料が古い

ニ) 学術雑誌が不足

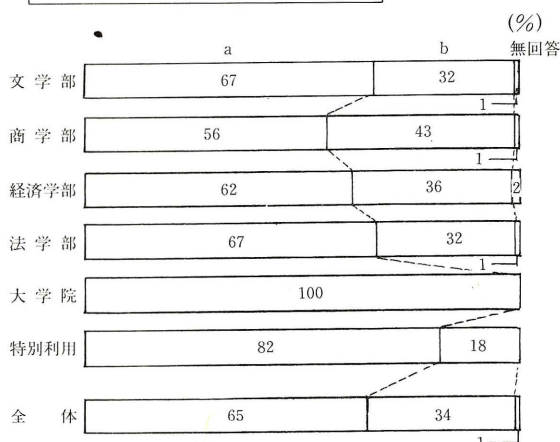
ホ) その他()

	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	無回答	(名)
文	63	154	91	11	14	4	337
商	18	44	46	2	3	1	114
経	18	55	45	7	3	0	128
法	24	101	46	7	9	5	192
院	0	7	2	6	0	0	15
特	1	12	4	1	1	0	19
計	124	373	234	34	30	10	805

必要な資料は「まあまあ」とあるという回答が多かった反面、「専門図書」及び「一般教養図書」が不足している。資料が古い。新刊書をもっと購入してほしい。という意見もあった。

8. 希望図書購入制度があるのを知っていますか。

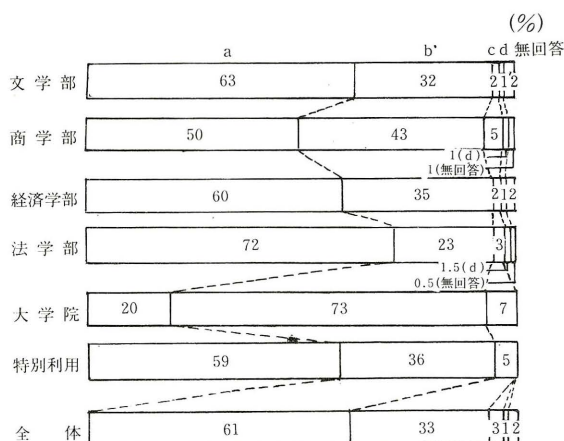
a) 知っている b) 知らない



9. 図書の検索について

A. 図書をさがす場合、もっともよく使う方法は何か。

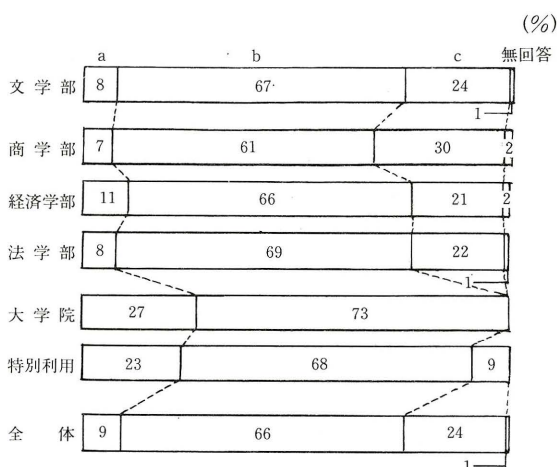
a) 書架をさがす b) 目録をみる
c) 館員にきく d) その他()



「書架をさがす」という回答が大部分であった。これは19番の質問事項である「館内表示」とも関連するが、「書架をさがす」には、書架の表示を明確にしてほしいという附随する意見があった。

B. 図書をさがすのはやさしいですか、むずかしいですか。

a) やさしい b) 普通 c) むずかしい



c) に○をつけた人は、その理由として下記の中から選んでください。

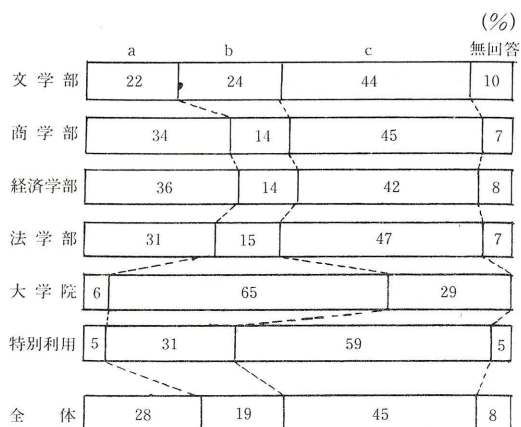
- イ) 図書の配列が乱れている
- ロ) 配列のガイドが不十分
- ハ) 目録の見方がよくわからない
- ニ) その他 ()

	イ	ロ	ハ	ニ	無回答	(名)
文	22	64	50	0	3	139
商	12	37	35	2	2	88
経	3	21	31	3	0	58
法	5	30	20	5	0	60
院	/	/	/	/	/	/
特	0	0	2	0	0	2
計	42	152	138	10	5	347

「むずかしい」とした回答の中に、配列のガイドが不十分、次いで目録の見方がよくわからないという順になっているが、目録の見方がわかる人でも、配列のガイドが不十分のために「むずかしい」とした回答があった。

C. 図書をさがすとき、どの目録をもっともよく利用しますか。

a) 分類目録(請求番号順) b) 著者名目録(著者名のA・B・C順) c) 書名目録(書名のA・B・C順)



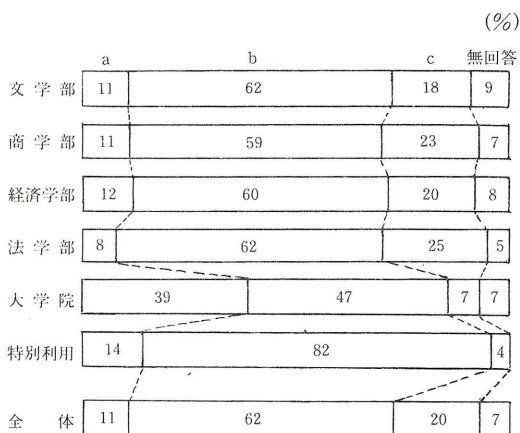
(名)

	イ	ロ	ハ	無回答	計
文	58	35	8	6	107
商	32	25	4	4	65
経	18	19	6	2	45
法	24	22	10	17	73
院	0	0	1	0	1
特	1	0	0	0	1
計	133	101	29	29	292

カード目録をひくのは「普通」だとする回答が多いが「むずかしい」とした人の中には、①カードの配列順がわかりにくい。②カードに記載されていることがわからない。③カードの配列がまちがっている。④カードケースにカードがつまりすぎである。⑤アイウ…順にしてほしい。⑥カード目録をひくのはめんどろ等の意見があった。

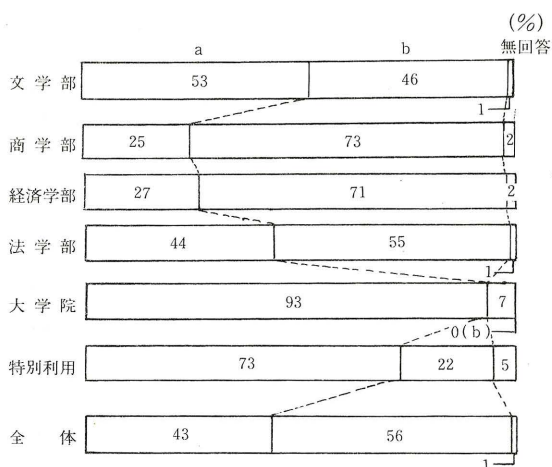
D. カード目録をひくのはやさしいですか、むずかしいですか。

a) やさしい b) 普通 c) むずかしい



E. 開架閲覧室以外にも開架書庫があってその図書も利用できることを知っていますか。

a) 知っている b) 知らない



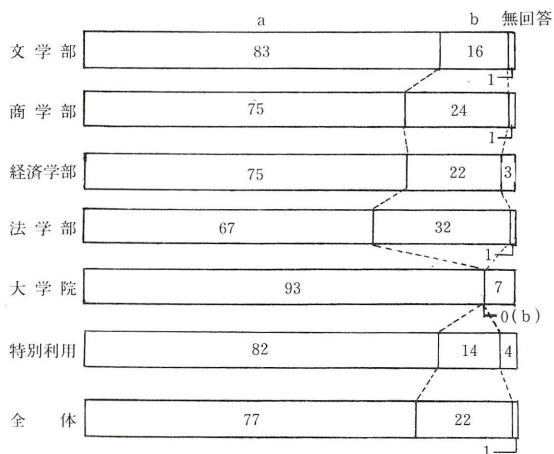
c) に○をつけた人は、その理由を下記の中から選んでください。

- イ) カードの配列順がわかりにくい。
 ロ) 記載されていることがよくわからない。
 ハ) その他 (

10. 図書を借りたことがありますか。

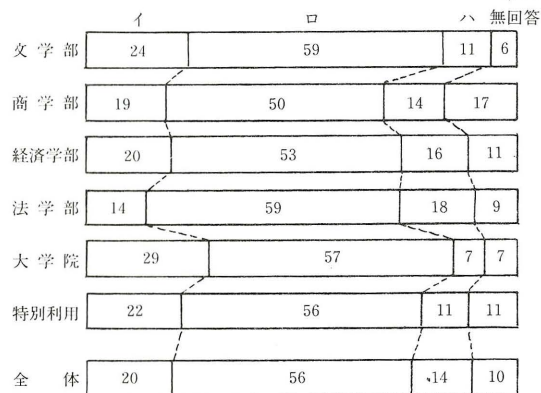
a) ある b) ない

(%)



その際手続きは イ) 簡単 ロ) 普通 ハ) めんどく

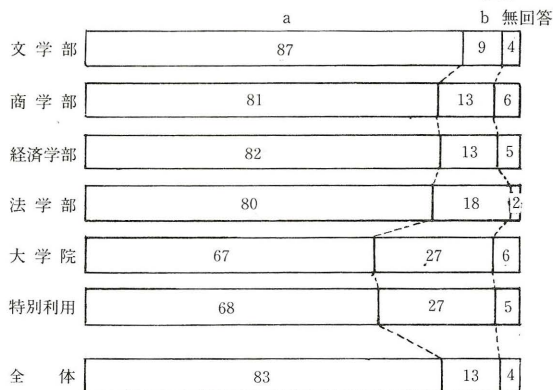
(%)



11. 現在の図書の貸出期間をどう思いますか。

a) 現在のままでよい b) 不適當(日を希望)

(%)



現行期限は院生特別利用者を除いて11日間である。ただし休暇期間中は「長期貸出」、卒業論文の作成などの場合は「特別貸出」を行なっている。

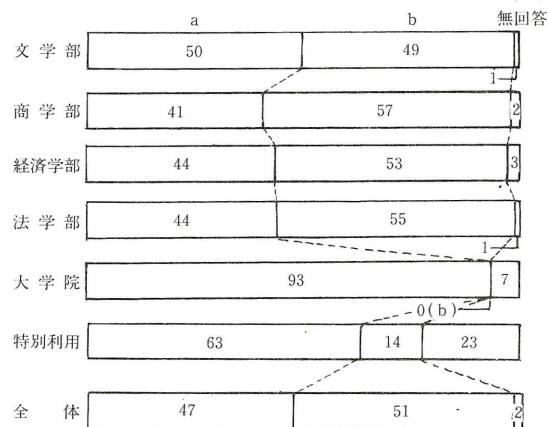
不適當と答えた人の具体的希望日数は下記のとおりとなっている。

日 名	5	7	8	10	12	14	15	20	21	30以上
学生数	1	1	8	2	1	44	17	28	3	30

12. 貸出期間の更新制度(特別利用者を除く)があることを知っていますか。

a) 知っている b) 知らない

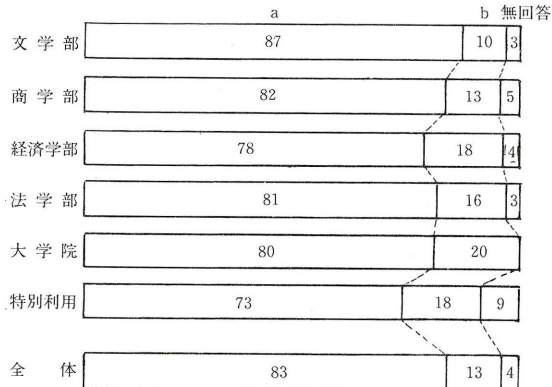
(%)



13. 現在の貸出冊数をどう思いますか。

a) 現在のままでよい b) 不適當(冊までを希望)

(%)



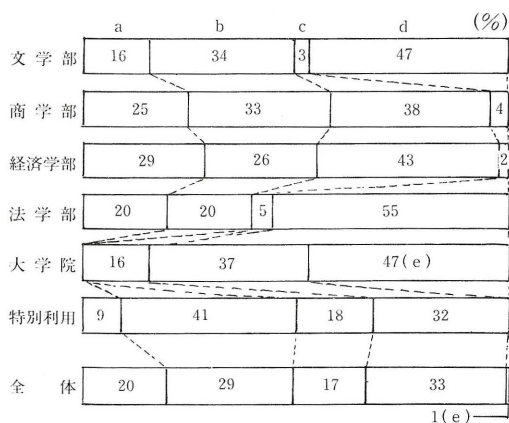
現行は院生を除いて3冊以内である。ただし休暇期間中は5冊、卒業論文作成などによる特別貸出の場合は、上記の外に3冊の貸出ができる。

不適当と答えた人の具体的な希望冊数は下記のとおりとなっている。

冊数	3以下	4	5	6	7	10	30
学生数	10	11	122	3	4	12	1

14. どの階をもっともよく利用しますか。

- a) 1階 b) 2階 c) 3階 d) 4階
e) 閉架(院生)



a) に○をつけた人は、具体的下記の中から選んでください。

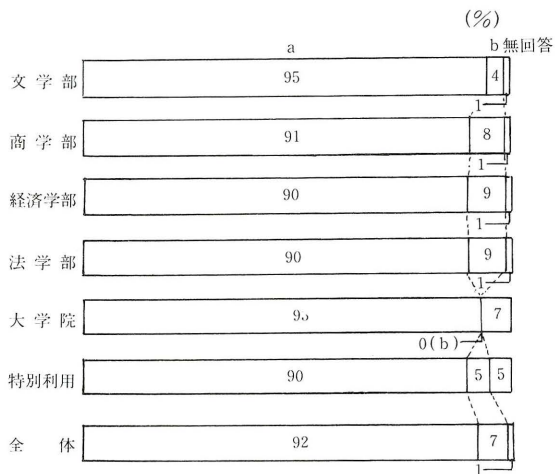
〔イ) 学習室 ロ) 新聞コーナー ハ) 国連寄託図書館〕

	イ	ロ	ハ	無回答	計
文	92	8	0	2	102
商	56	11	0	5	72
経	55	12	1	4	72
法	48	10	1	1	60
院					
特					
計	251	41	2	12	306

15. 夜間開館について

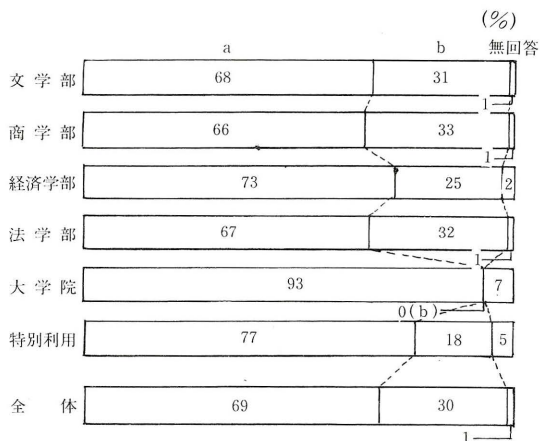
A. 21時まで開館しているのを知っていますか。

- a) 知っている b) 知らない



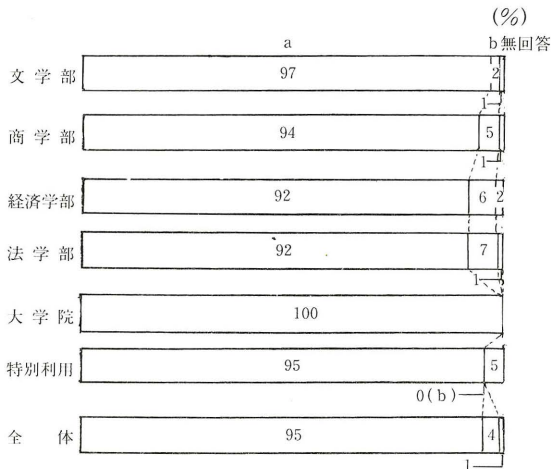
B. 17時以降利用したことがありますか。

- a) ある b) ない



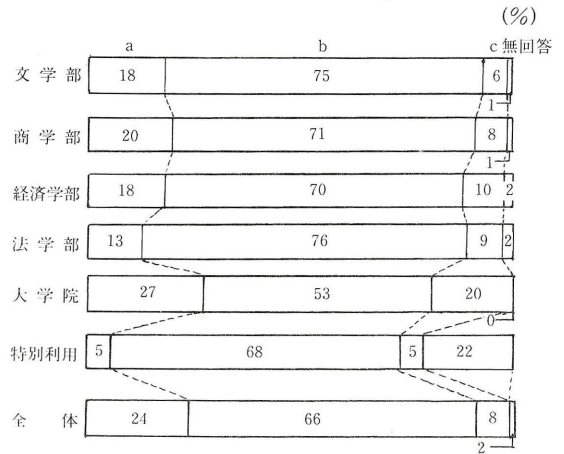
16. 夏期は冷房しているのを知っていますか。

a) 知っている b) 知らない



18. 館内の照明はどう思いますか。

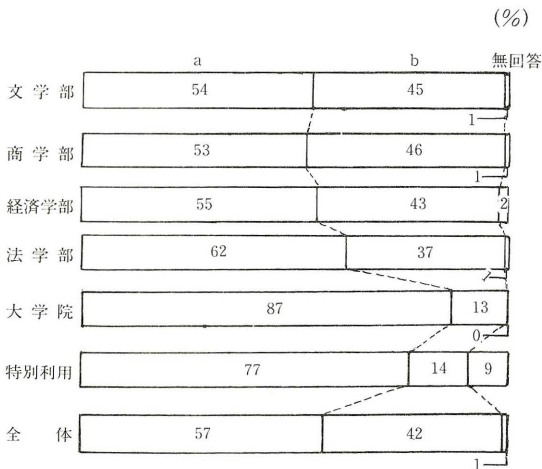
a) 明るい b) 普通 c) 暗い



c)に○をつけた人に具体的にその場所を書いてももらったところ、①全館的に ②夜間を利用する時 ③各階窓側以外。その他、各閲覧机にライトを備付けてほしいなどという意見があった。

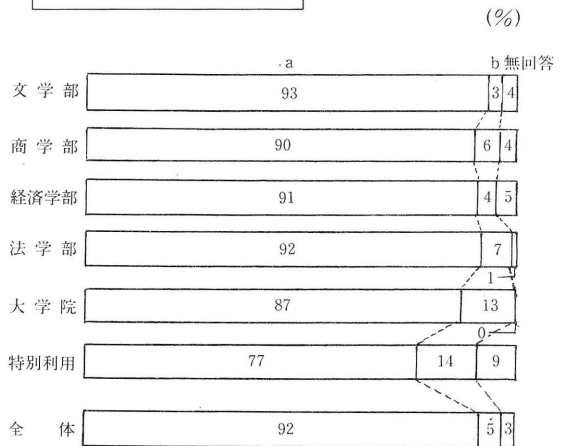
17. 1階に国連寄託図書館が併置されているのを知っていますか。

a) 知っている b) 知らない



19. 館内表示は適切と思いますか。

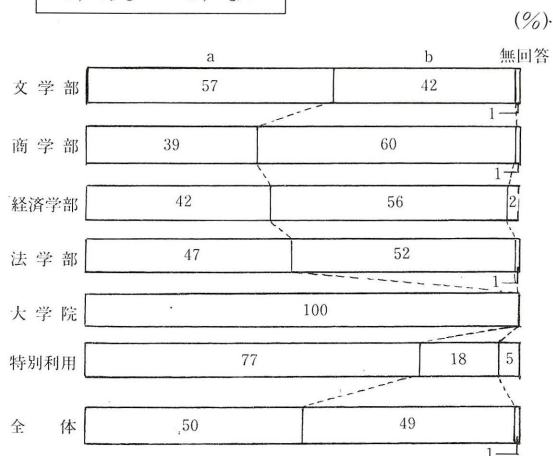
a) 適切 b) 不適切



b)に○をつけた人に具体的な例とその改善策を挙げてもらったところ、前述の書架の表示を明確にして欲しいという意見の他に、図書館案内図を入口に設置してほしい。各室の図書の分類表を入口に掲示してほしい。新刊や情報案内を掲示してほしい。などそのいずれもがプラスチック板などを使って少し大きな文字でわかりやすくして欲しいという希望であった。

20. 本学図書館で複写をしたことがありますか。

a) ある b) ない



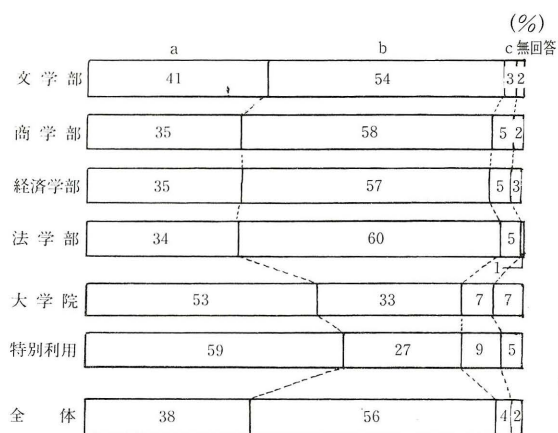
21. 資料をさがすのに、外部の機関を利用したことがある人は、下記に○をつけてください。

a) 国会図書館 b) 公共図書館
 c) 他大学図書館 d) アメリカンセンター
 e) その他 ()

	a	b	c	d	e	利用しなかった人(名)	計
文	6	274	15	35	5	272	607
商	2	125	8	8	0	131	274
経	7	88	5	2	2	118	222
法	2	127	8	2	0	157	296
院	14	6	4	5	1	0	30
特	0	8	1	3	0	10	22
計	31	628	41	55	8	688	1451

22. 図書館員の対応はどうか。

a) よい b) まあまあ c) 悪い



23. 図書館に対するご意見・ご希望があれば、具体的に記入してください。

いろいろな意見、要望などが出され、学生諸君の切なる願いというものにふれて、更に努力、改善しなければと強く感じた次第である。そういう生きた要望など、また誤解されている点などもあるようですので、その中からいくつかを取り上げて、次号の図書館報（昭和57年4月26日発行予定）で回答します。